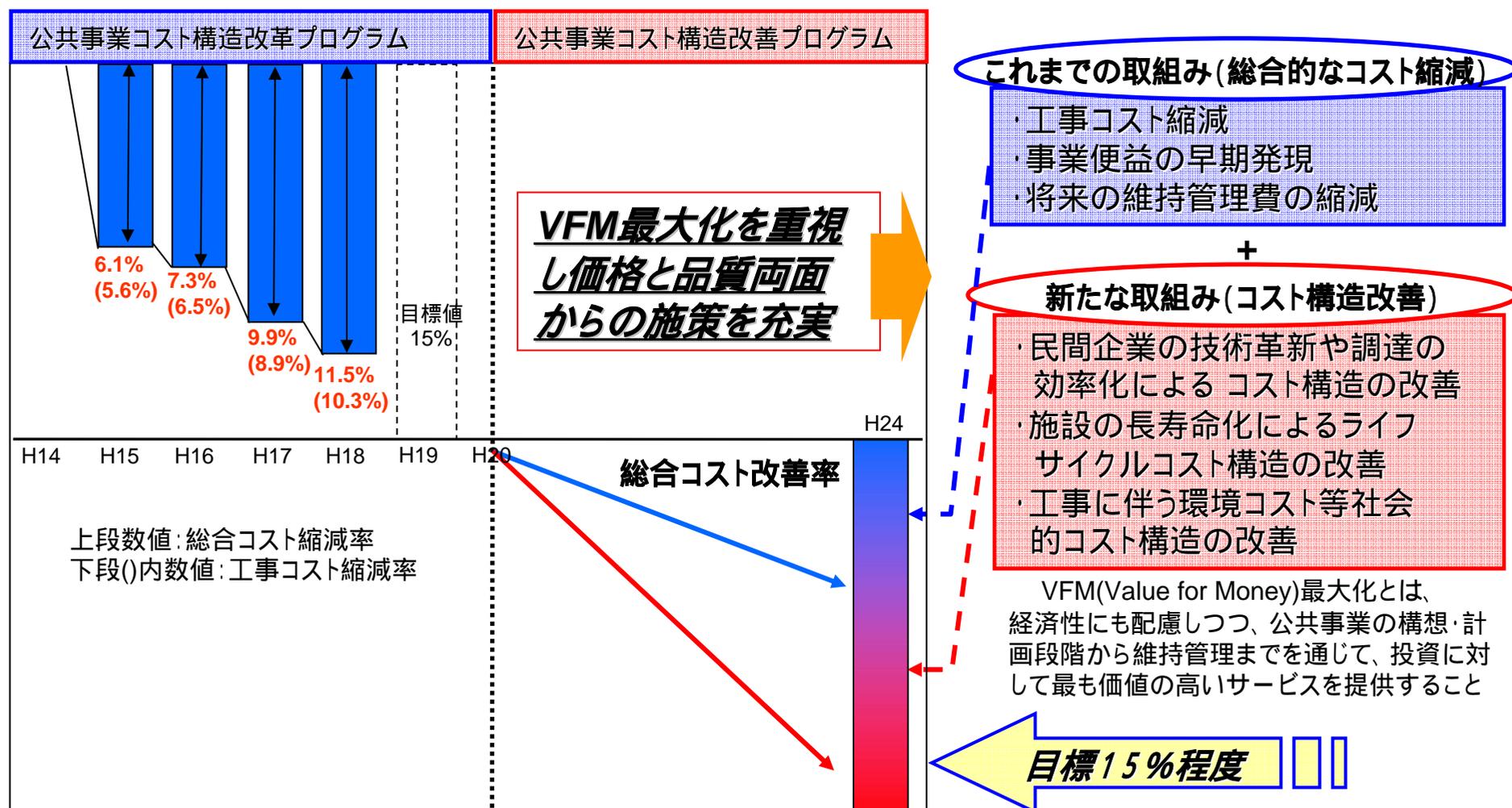


公共事業コスト構造改善プログラムの概要

資料5

- ・平成20年度～24年度の5年間で、平成19年度と比較して、**15%程度のコスト構造の改善を目標**とすべく、年度内に新プログラムを策定。
- ・これまでの「**総合的なコスト縮減**」の取組みに加え、平成20年度からは新たに「**コスト構造改善**」の取組を導入し、「**総合的なコスト構造改善**」を推進。



総合的なコスト構造改善について

新・公共事業コスト構造改革プログラム(公共事業コスト構造改善プログラム)では、**民間企業の技術革新や調達効率化によるコスト構造改善**、**長寿命化によるライフサイクルコスト構造の改善**、**社会的コスト構造の改善**を新たに評価項目として追加。

公共工事コスト縮減対策に関する行動指針

工事コスト縮減率 (H9~H11)

H12~H14については、公共事業コスト縮減対策に関する新行動指針を策定し、コスト縮減に取り組んだが、数値目標は定めていない。

公共事業コスト構造改革プログラム

総合コスト縮減率 (H15~H19)

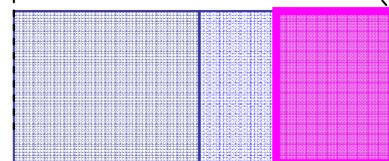
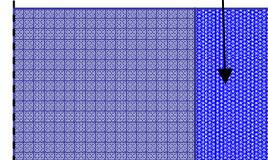
公共事業コスト構造改善プログラム

総合コスト改善率 (H20~H24)

工事コスト



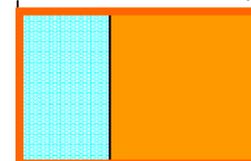
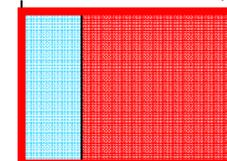
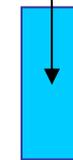
規格の見直しによる
工事コスト縮減



民間企業の技術革新や
調達効率化による
コスト構造の改善

工事コスト以外の 効果のコスト換算分

将来の維持管理費の
縮減 事業便益の
早期発現



長寿命化による
ライフサイクル
コスト構造の改善

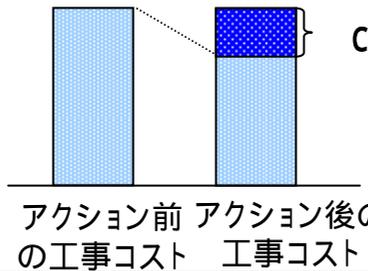
社会的コスト構造
の改善

総合コスト構造改善額の算定方法

総合コスト構造改善額は、平成19年度における標準的な公共工事のコスト(アクション前)と、総合的なコスト構造改善による取り組み後のコスト(アクション後)との差で算出する。

工事コストの縮減等

現在の工事コスト縮減額と同様に計上(予定価格ベース)



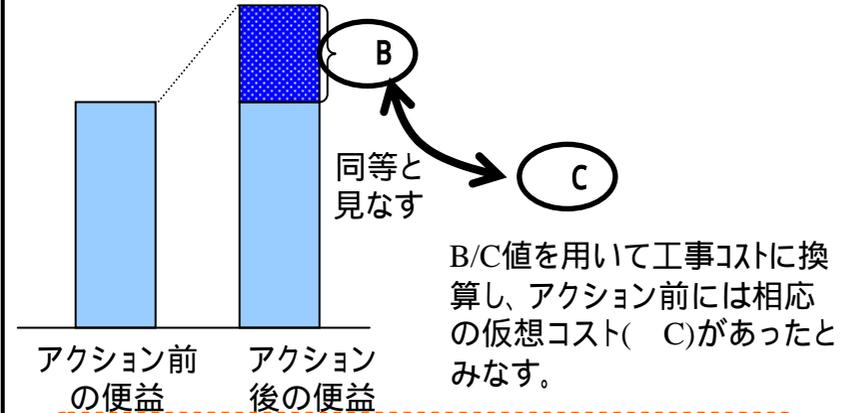
民間企業の技術革新や調達の効率化によるコスト構造の改善

民間企業によるICTの活用や創意工夫を評価

社会的コスト構造の改善

事業便益の早期発現

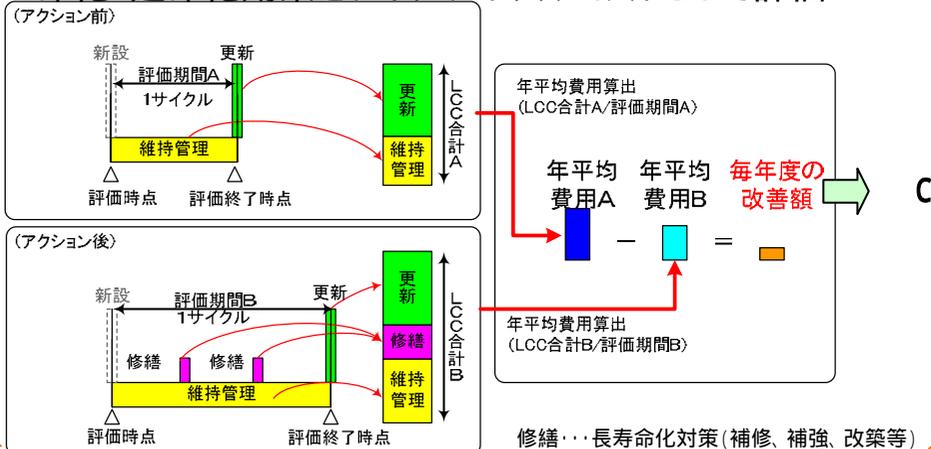
事業のスピードアップが図られることによる便益の増加分に相当するコストを計測し計上



ライフサイクルコスト構造の改善

ライフサイクルコスト構造の改善

維持管理費の縮減効果に加え、供用中構造物の長寿命化・延命化効果をライフサイクルコストとして評価



環境コスト構造の改善

工事におけるCO₂排出低減建設機械の利用促進によるCO₂削減量を評価。

通行止め規制日数の短縮による社会的コスト構造の改善

工事規制日数の減少による、交通渋滞の減少等の社会的コスト(渋滞損失額)の改善効果を評価。